

環境保全と事業成長を同時実現する「環境経営」

長期的な視点でビジネスモデルの変革を進め、社会のサステナビリティ向上にも貢献します。

新たな環境目標設定と達成にむけたプロセス

リコーグループが2017年4月に設定した5つの重要社会課題(マテリアリティ)には、持続可能な地球環境に関連する「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」の項目があります。▶❶

これらの達成にむけて、新たに「リコーグループ環境宣言」を掲げ、「リコーグループ環境目標」を設定し、取り組みを強化しています。特に「脱炭素社会の実現」にむけて、温暖化防止分野では、2050年までにバリューチェーン全体の温室効果ガス

(GHG)排出ゼロを目指します。目標達成にむけては、徹底的な省エネ活動を進めるとともに、再生可能エネルギーを積極的に活用していきます。また、国際的なイニシアチブであるRE100 ▶❶には日本企業として初めて参加しました。さらに、製品のエネルギー効率向上などに取り組むとともに、ビジネスパートナーや顧客にも協力を働きかけることで、バリューチェーン全体での脱炭素社会づくりに貢献していきます。▶❷❸

詳しくは本誌

❶ 社会課題の解決と価値創造 P23-24

RE100

事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアチブ

RE 100 | °C | CDP

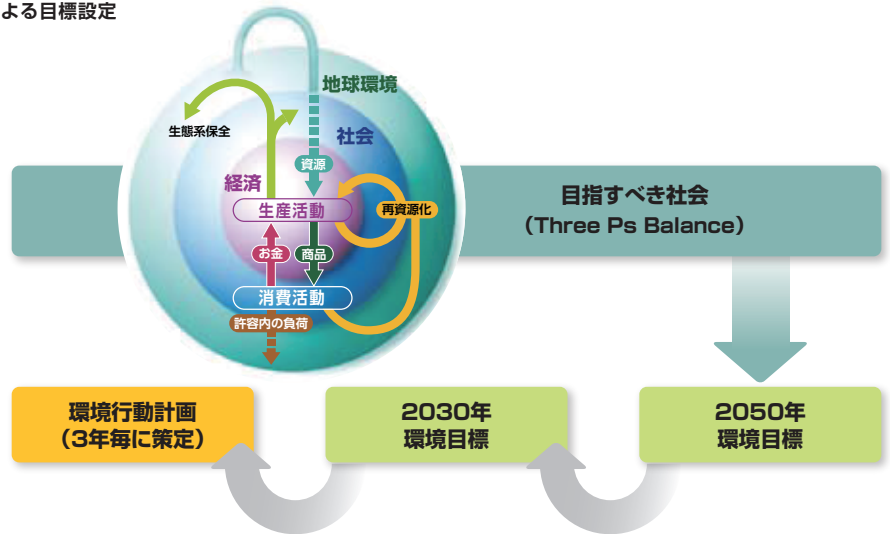
GHGスコープ1、2、3

・GHGスコープ1:自社の工場・オフィス・車両などから直接排出されるGHG
 ・GHGスコープ2:自社が購入した熱・電力の使用に伴うGHG
 ・GHGスコープ3:企業活動のサプライチェーンの排出量(GHGスコープ1、2を除く)

IPCCのRCP2.6に沿った削減目標

製品の省資源化率
 総投入資源量に対する新規投入資源削減量の割合

バックカスティングによる目標設定



リコーグループ環境宣言	リコーグループ環境目標	
環境負荷削減と地球の再生能力向上に取り組み、事業を通じて脱炭素社会、循環型社会を実現する。	【2030年目標】 ・GHGスコープ1、2* ▶❷ 30%削減 ▶❸ ・GHGスコープ3* ▶❷ 15%削減 ・製品の省資源化率 ▶❹:50% * いずれも2015年比	【2050年目標】 ・バリューチェーン全体の温室効果ガス(GHG)排出ゼロを目指す ・製品の省資源化率: 93%

詳しくはWEB

- ❶ リコー、経営戦略に基づき重要社会課題と新たな環境目標を設定 jp.ricoh.com/release/2017/0421_1.html
- ❷ リコーグループの環境宣言と環境目標 jp.ricoh.com/ecology/strategy/target.html